

株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 剰余金の配当基準日 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- 定時株主総会 毎年6月
- 単元株式数 500株
- 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324(フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

■公告方法 電子公告 (<http://www.musashinet.co.jp/koukoku/>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

●上場株式配当等の支払に関する通知書について

租税特別措置法の改正により、平成21年1月からお支払する配当金については、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した支払通知書を通知することとなっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、平成23年の確定申告の添付書類としてご使用ください。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、平成22年1月のお支払分より源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、平成23年の確定申告の添付書類としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

株式会社 **ムサシ**

本社：〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目20番36号
TEL.03-3546-7711
<http://www.musashinet.co.jp/>



株式会社 **ムサシ**

第89期 年次報告書

(2009年4月1日～2010年3月31日)

証券コード：7521

私たちは
人とシステムの
創造と調和を実現し、
健全で信頼される企業を
目指し続けます。



ごあいさつ



代表取締役社長

小林 厚一

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

ここに第89期(2009年4月1日から2010年3月31日まで)年次報告書をお届けするにあたり、日頃のあたたかいご支援に心から厚く御礼申し上げます。

さて、おかげさまで当社グループは第89期において、過去最高の利益をあげることができました。これはひとえに株主の皆様をはじめ、お得意先やお取引先の皆様のご愛顧の賜物と深く感謝しております。

日本経済の現況は、最悪期は脱しつつあるものの懸念材料が山積し先行きの不透明感が拭えません。このような環境のなか、当社グループが社会に貢献し長期的な成長を成し遂げて行くに

は、これまでの戦略の延長線上から脱却し、新たな独自の「顧客価値」を創造していくことが不可欠です。つまり、商品やサービスを差別化し当社の独自性を持たせ、同時にお客様に信頼・安心・満足を提供することが必要であると考え、全力を挙げて取り組んでおります。

そして、グループ各社の特徴や強みを活かし既存事業の強化を図るとともに、その周辺分野における新規事業の開拓と自社開発商品・サービスの拡充に注力し、常に安定した業績を確保できる体制の確立を目指してまいります。

今後とも引き続き格別のご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2010年6月

選挙システム

選挙事務の効率化をトータルサポート

選挙前

選挙啓発グッズを提供。

ムサシは、投票率アップを目指す啓発プロモーション活動を支援。懸垂幕やのぼり、風船などのノベルティグッズ等、有権者の選挙に対する意識を向上させる告知・啓発用品をタイムリーに提供しています。



円滑な誘導

バリアフリーを実現するスロープや車イス、案内板、立て看板などを提供し、投票者を円滑に誘導します。

投票者の確認

自社開発の管理システムで、投票者が提示する入場整理券のバーコードを読み取り、迅速で正確な本人確認を行います。

投票用紙の交付

オリジナル交付機により投票者を待たせることなく、正確な用紙の交付を行います。

投票

記載台や、古紙を再利用した折りたたみ式投票箱など環境に配慮した製品を提供しています。

投票所

スムーズな投票を実現。

投票者をスムーズに誘導し、かつ厳正な投票事務を実現するため、投票所のレイアウト設計から必要な機器や機材・用品などを提供。選挙当日の投票所だけでなく、現在増加している期日前投票所で目にするものは全てムサシで取り扱っています。

40年にわたって

選挙事務の効率化を追求。

1970年に業界初の投票用紙計数機を発売して以来、40年にわたってムサシは選挙事務の効率化を強力にサポートしてきました。現在では、選挙前の啓発活動グッズから、投票所や開票所で使用する機器や業務管理システム、投票箱などの用品・用具類まで幅広く取り扱っています。投開票業務のあらゆるシーンでムサシの商品が活躍しています。

集計作業

自社開発の集計システムで、束毎に付したバーコードを読み取り、候補者別の得票数を自動集計します。ダブルカウントを防止し、正確で迅速な集計を実現します。



仕分け作業

最新の機器で、投票用紙に書かれた手書き文字を瞬時に読み取り、候補者別に毎分660票の高速で分類します。(P.7に詳細)



計数作業

投票用紙を毎分1500票の超高速で計数し100票の束を作ります。同時に二つ折れなどの異常票を自動排除します。

投票用紙取り出し

折っても投票箱の中で自然に開くオリジナル投票用紙は、開票所での面倒な作業を不要にしました。



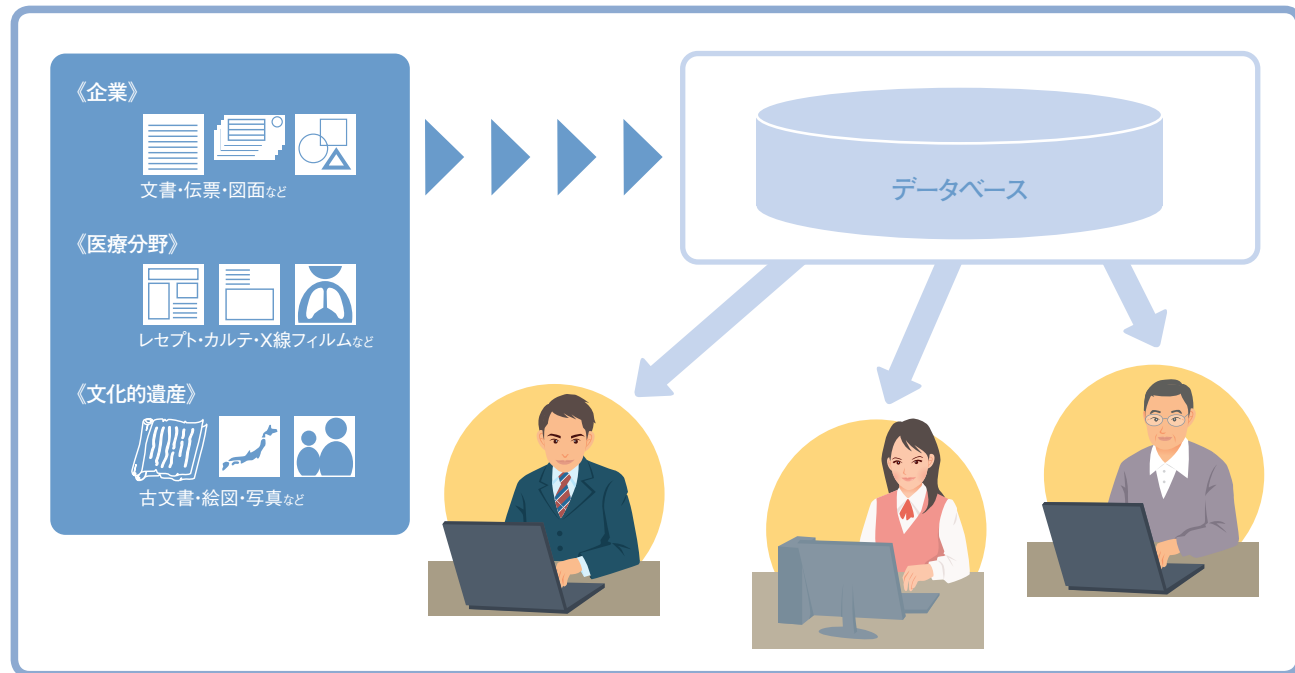
開票所

最先端の技術で開票業務の効率化を支援。

長年の経験と実績をもとに最先端技術を投入した各種機器やオリジナル投票用紙、業務管理ソフトなどを提供。開票業務の各作業で利用され、効率的な開票集計を実現しています。

情報・産業システム

お客様の情報活用をトータルサポート



様々な情報のデジタル化による活用マネジメントをフルサポート。

社会のあらゆる場所で発生し別々に収納されている文書や書籍、フィルムなどの様々な情報。これらを一元化して広く活用するため、目的に応じた形にデジタル変換しデータベース(DB)を構築します。そして、DBを共有し必要に応じて情報を自由に入手できるシステムをつくります。ムサシは、これら情報活用のしくみづくりをトータルで提供しています。

情報のデジタル化需要は様々な分野で広がっています。

電子政府・電子自治体の推進により、官公庁・自治体において情報のデジタル化需要が広がってきました。これに加え、最近では「e-文書」「電子帳簿保存法」などの法令対応に伴い民間企業においても、デジタル化による文書・帳票管理の需要が大きくなりつつあります。ムサシは情報の電子化やアーカイブを中心としたアウトソーシング事業をグループで積極的に推進しています。

金融汎用システム

安全で機能的なマネーフローをトータルサポート

マネー・業務フローの革新と高次元のセキュリティを実現。

貨幣処理機器をはじめ、鍵やIDカードの管理機器など各種セキュリティ機器やシステムを自社開発しています。金融機関をはじめ、流通業や宅配業、運輸業など、現金を取り扱うあらゆる業種におけるマネーフローと業務フローを革新するソリューションをお届けしています。



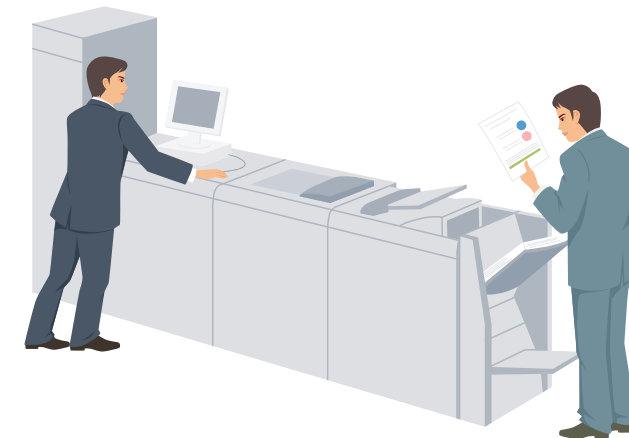
テラック460HA
業界最小の設置スペースを実現した、卓上型紙幣入金整理機。

印刷システム

先進のデジタル印刷をトータルサポート

高精細と低コストを実現するオンデマンド印刷システムを提供。

ムサシは富士フィルムの特約代理店として、主流のデジタルプリプレスシステム(CTP)のほか、版をつくらないオンデマンドやワイドフォーマット等のデジタルプリンティングシステム(DP)を提供しています。小ロット印刷や1枚ずつ異なる内容を印刷するバリエーション印刷などを、高精細かつ低ランニングコストで実現する先進の印刷システムであらゆるニーズにお応えしています。



ここに技あり!

～開票作業スピードアップの主演～ 投票用紙読み取り分類機を新発売

またひとつ、
ムサシの自慢が
増えました



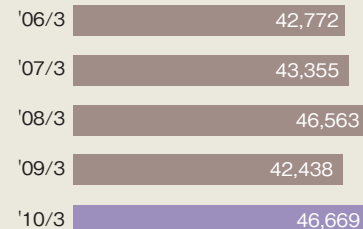
テラック CRS-VA

ムサシが今年の参議院選挙に向けて発売した画期的な新製品が投票用紙読み取り分類機『テラックCRS-VA』(写真)。投票用紙に書かれた手書き文字(漢字・ひらがな・カタカナ)を毎分660枚(業界最高速)のスピードで読み取り、候補者(政党)別の棚に用紙を自動分類します。また、候補者が多い選挙の時は増設ユニットを連結し、分類棚の数を最大29段(業界最多)まで増やして効率的な仕分けができます。

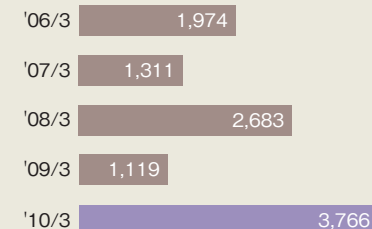
現在の開票業務は、市町村の合併や期日前投票数の急増などの影響で処理量が増えています。なかでも投票用紙の仕分け作業は、まだ手作業が多く、神経を使う上、多くの人手が必要となっています。特に、候補者名でも政党名でも投票できる参議院選挙の開票はとても煩雑。

ムサシは、開票業務の効率化を推し進め、開票時間の短縮と人員の削減効果による事務コスト削減を全国の自治体に向けて積極的に提案しています。

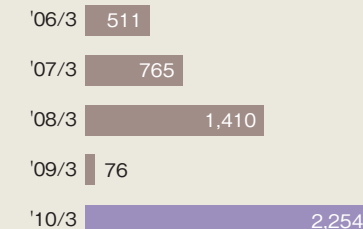
● 売上高 (単位:百万円)



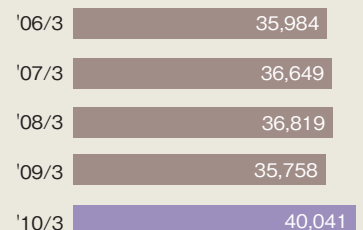
● 経常利益 (単位:百万円)



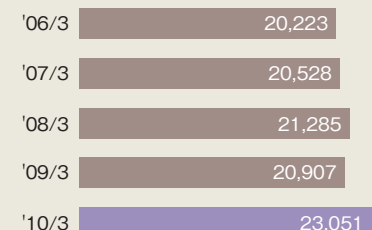
● 当期純利益 (単位:百万円)



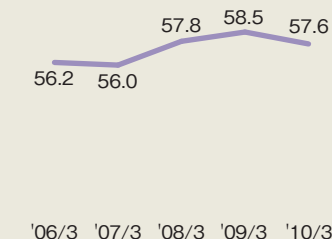
● 総資産 (単位:百万円)



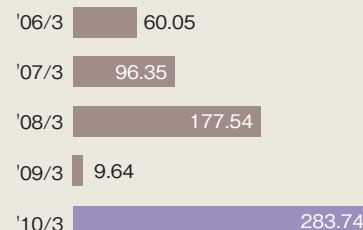
● 純資産 (単位:百万円)



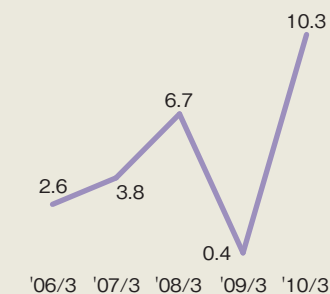
● 自己資本比率 (単位:%)



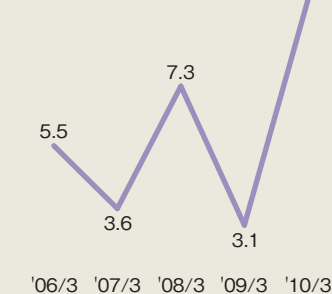
● 1株当たり当期純利益 (単位:円)

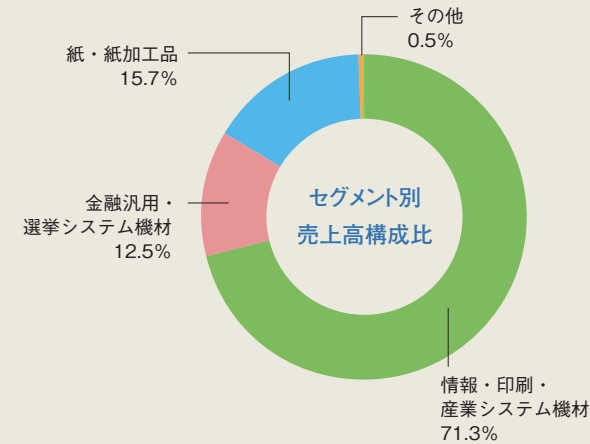


● ROE (単位:%)



● ROA (単位:%)





当連結会計年度におけるわが国経済は、年度後半にかけて輸出の増加などにより景気は持ち直しの動きが見られたものの、設備投資は依然として低調な推移を辿り、厳しい雇用情勢などを背景に個人消費も伸び悩むなど、先行きの不透明感が強い状況で推移いたしました。

このような状況のもと当社グループでは、情報のデジタル化業務の受注や印刷機材の拡販に注力する一方、貨幣処理機器やセキュリティ機器及び衆議院選挙向け機材などの販売に積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当期の連結売上高は466億69百万円(前年同期比10.0%増)、営業利益は35億57百万円(前年同期比285.4%増)、経常利益は37億66百万円(前年同期比236.4%増)、当期純利益は22億54百万円(前年同期は当期純利益76百万円)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次の通りであります。
 なお、事業の種類別セグメントの売上高及び営業利益はセグメント間の取引を相殺消去しておりません。

情報・印刷・産業システム機材

情報・産業システム機材は、官公庁・自治体及び民間企業から文書のデジタル化業務の受注が大幅に伸長したほか、各種情報の電子化に関わる機器の販売が好調に推移し、前年実績を大幅に上回りました。

印刷システム機材は、印刷需要の低迷が長期化しており、顧客の設備投資意欲が冷え込んだ上、金融機関の与信収縮もあり、印刷機器及び印刷材料ともに販売が低調に推移し前年実績を下回りました。

以上の結果、売上高は332億67百万円(前年同期比11.4%増)、営業利益は27億8百万円(前年同期比119.3%増)となりました。

金融汎用・選挙システム機材

金融汎用システム機材は、流通市場向け売上精算システムの販売は低迷しましたが、金融機関向け紙幣処理機器の販売が伸長したため、ほぼ前年実績並みに推移しました。

また、海外営業分野につきましては、欧州市場の低迷と円高の影響によりヨーロッパ向け貨幣処理機器の販

売が落ち込み前年実績を下回りました。

選挙システム機材は、昨年8月に衆議院選挙が実施され同選挙向け機材の販売が好調に推移したほか、地方選挙向け機材の販売も順調だったため、前年実績を大幅に上回りました。

以上の結果、売上高は58億43百万円(前年同期比38.6%増)となり、営業利益は6億71百万円(前年同期は営業損失4億54百万円)となりました。

紙・紙加工品

紙・紙加工品は、印刷材料用感光材包装紙や紙器用板紙の販売は若干伸長しましたが、主力の塗工印刷用紙や情報用紙の販売が落ち込んだため、売上高は73億34百万円(前年同期比9.7%減)となり、営業利益は15百万円(前年同期比375.6%増)となりました。

その他

その他のセグメントである不動産賃貸業、リース、損害保険代理業の売上高は5億22百万円(前年同期比0.5%増)、営業利益は1億58百万円(前年同期比16.5%増)となりました。

会社の対処すべき課題

当社グループは、情報のデジタル化事業につきましては、e文書法や公文書管理法などの法令、及びデジタルデータの記録保存に関する各種規格の制定に伴うドキュメントの電子化や、アーカイブを中心としたアウトソーシング事業の拡大に取り組んでまいります。

印刷システム機材分野では、成熟期を迎えたCTP市場において、印刷工程の合理化や生産性向上を目的とした機器の増設や更新を推進するとともに、環境配慮型の新製品の普及に積極的に取り組み、差別化による市場シェアの拡大を図ってまいります。また、成長の見込まれるオンデマンドやワイドフォーマット等のデジタルプレス機器の市場開拓と販売強化に注力いたします。

金融汎用システム機材分野では、貨幣処理機など既設機器の更新需要は低迷状況が続くと予想されるため、顧客の営業戦略上の課題に対するソリューションや、コンプライアンス及びオペレーショナル・リスク低減に関わる機器やシステムの開発及びソリューション提案に注力してまいります。

選挙システム機材分野では、国政選挙の有無にかかわらず安定した業績を確保するため、選挙業務ソフトなどの拡販に注力してまいります。

紙・紙加工品分野では、新規顧客開拓による市場シェアの拡大とともに、市場ニーズに即した環境配慮型オリジナル商品の開発と販売に注力し収益構造の改善を図ってまいります。

● 連結貸借対照表

(単位:百万円未満切捨て)

科 目	第 89 期 2010年3月31日現在	第 88 期 2009年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	11,044	11,588
受取手形及び売掛金	16,594	11,419
商品及び製品	1,726	2,094
仕掛品	130	52
原材料及び貯蔵品	237	249
その他	643	627
貸倒引当金	△ 58	△ 19
流動資産合計	30,319	26,012
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,304	1,153
土地	2,159	2,182
その他	535	522
有形固定資産合計	4,000	3,858
無形固定資産	191	211
投資その他の資産		
投資有価証券	1,662	1,707
差入保証金	2,561	2,553
その他	1,417	1,525
貸倒引当金	△ 109	△ 110
投資その他の資産合計	5,531	5,676
固定資産合計	9,722	9,746
資産合計	40,041	35,758

(単位:百万円未満切捨て)

科 目	第 89 期 2010年3月31日現在	第 88 期 2009年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,019	8,698
短期借入金	3,622	3,723
未払法人税等	1,426	79
賞与引当金	439	432
その他	1,085	550
流動負債合計	15,593	13,484
固定負債		
退職給付引当金	188	181
役員退職慰労引当金	735	718
その他	472	466
固定負債合計	1,396	1,366
負債合計	16,990	14,851
(純資産の部)		
株主資本	23,062	20,967
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	2,005	2,005
利益剰余金	19,855	17,759
自己株式	△ 6	△ 6
評価・換算差額等	△ 10	△ 59
その他有価証券評価差額金	△ 10	△ 59
純資産合計	23,051	20,907
負債・純資産合計	40,041	35,758

● 連結損益計算書

(単位:百万円未満切捨て)

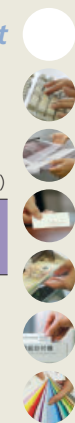
科 目	第 89 期 2009年4月1日～ 2010年3月31日	第 88 期 2008年4月1日～ 2009年3月31日
売上高	46,669	42,438
売上原価	35,950	34,467
売上総利益	10,718	7,970
販売費及び一般管理費	7,160	7,047
営業利益	3,557	923
営業外収益	261	271
営業外費用	52	75
経常利益	3,766	1,119
特別利益	4	15
特別損失	97	169
税金等調整前当期純利益	3,673	965
法人税・住民税及び事業税	1,645	522
法人税等調整額	△ 226	366
当期純利益	2,254	76

● 連結株主資本等変動計算書

第89期(2009年4月1日～2010年3月31日)

(単位:百万円未満切捨て)

科 目	株主資本					評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
2009年3月31日 残高	1,208	2,005	17,759	△ 6	20,967	△ 59	20,907
連結会計年度中の変動額							
剰余金の配当			△ 158		△ 158		△ 158
当期純利益			2,254		2,254		2,254
自己株式の取得				△ 0	△ 0		△ 0
株主資本以外の項目の連結会計 年度中の変動額(純額)						48	48
連結会計年度中の変動額合計	—	—	2,095	△ 0	2,095	48	2,143
2010年3月31日 残高	1,208	2,005	19,855	△ 6	23,062	△ 10	23,051



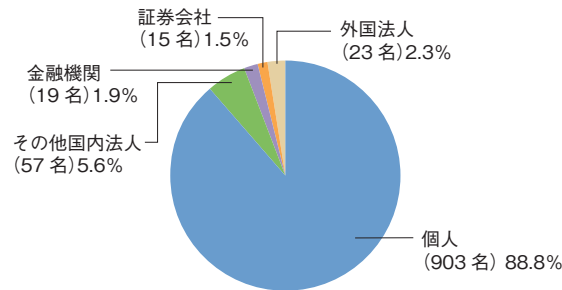
株式の状況 (2010年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 28,920,000株
- 発行済株式の総数 7,950,000株
- 株主数 1,017名
- 大株主(上位9名)

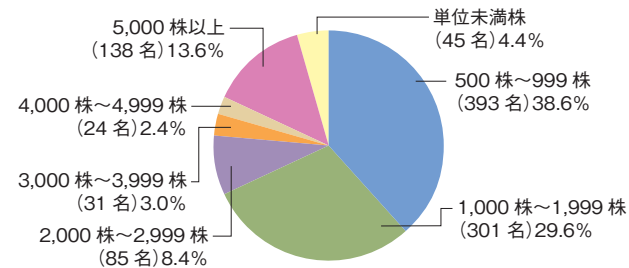
株主名	持株数	持株比率
上毛実業株式会社	1,365 千株	17.2 %
ショウリン商事株式会社	1,150	14.5
ムサシ社員持株会	499	6.3
羽鳥雅孝	360	4.5
株式会社みずほ銀行	360	4.5
ムサシ互助会	299	3.8
小林厚一	284	3.6
株式会社三井住友銀行	190	2.4
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	141	1.8

(注) 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

株式の所有者別状況(株主数)



株式の所有数別状況(株主数)



Stock Information

<http://www.musashinet.co.jp/>

当社ホームページでは、事業紹介やIR情報、商品情報、最新ニュースなどの情報を掲載しております。特に「IR情報」では、決算発表資料などのIR関連情報をタイムリーに載せております。



トップページ

新着情報をはじめ、企業情報、IR情報、事業紹介映像など様々な情報をタイムリーに発信しています。



IR情報ページ

業績などの推移がグラフで一覧できる決算ハイライトや、直近から過去に及ぶ豊富なIRデータを掲載しています。



商品情報ページ

当社で取り扱う様々な商品やサービスの詳細を紹介しています。

会社概要 (2010年6月29日現在)

商号	株式会社ムサシ
設立	1946年12月
本社	東京都中央区銀座八丁目20番36号
資本金	1,208,500,000円
従業員数	連結577名／単体284名 (2010年3月末現在)
主要取引銀行	株式会社みずほ銀行 株式会社三井住友銀行
関係会社	ムサシ・フィールド・サポート(株) 武蔵エンジニアリング(株) (株)ムサシ・エービーシー ムサシ・イメージ情報(株) ムサシ・アイ・テクノ(株) エフ・ビー・エム(株) 武蔵興産(株) (株)武蔵エンタープライズ (株)ジェイ・アイ・エム

役員	代表取締役会長	都木 恒夫
	代表取締役社長	小林 厚一
	代表取締役副社長	羽鳥 雅孝
	常務取締役	青坂 修司
	常務取締役	國澤 達人
	取締役	小野 丞
	取締役	佐々木 淳
	取締役	平口 恵三
	取締役	村田 進
	取締役	山村 隆
	取締役	吉川 伸一
	取締役	浅川 正仁
	常勤監査役	多田 恒典
	常勤監査役	中川 裕務
	社外監査役	安藤 信彦
	社外監査役	浅野 修一

Corporate Data

- 事業所
- 本社
東京第一支店
東京第二支店
紙・紙加工営業部
東京都中央区銀座八丁目20番36号
 - 札幌支店
札幌市北区北十二条西三丁目18番地2(N12ビル)
 - 仙台支店
仙台市青葉区錦町一丁目10番11号(新平和ビル)
 - 北関東支店
さいたま市大宮区土手町一丁目2番地(JA共済埼玉ビル)
 - 東関東支店
千葉市中央区栄町42番11号(日本企業会館)
 - 神静支店
横浜市神奈川区栄町1番地1(アーバンスクエア横浜)
 - 名古屋支店
名古屋市中村区名駅二丁目35番22号(メビウス名古屋)
 - 大阪支店
大阪府東大阪市長田中三丁目6番1号
 - 中四国支店
広島市中区本川町二丁目6番11号(第7ウエノヤビル)
 - 福岡支店
福岡市博多区店屋町6番25号(第6上村ビル)
 - 新潟営業所
 - 茨城営業所
 - 静岡営業所
 - 北陸営業所
 - 岡山営業所
 - 高松営業所

